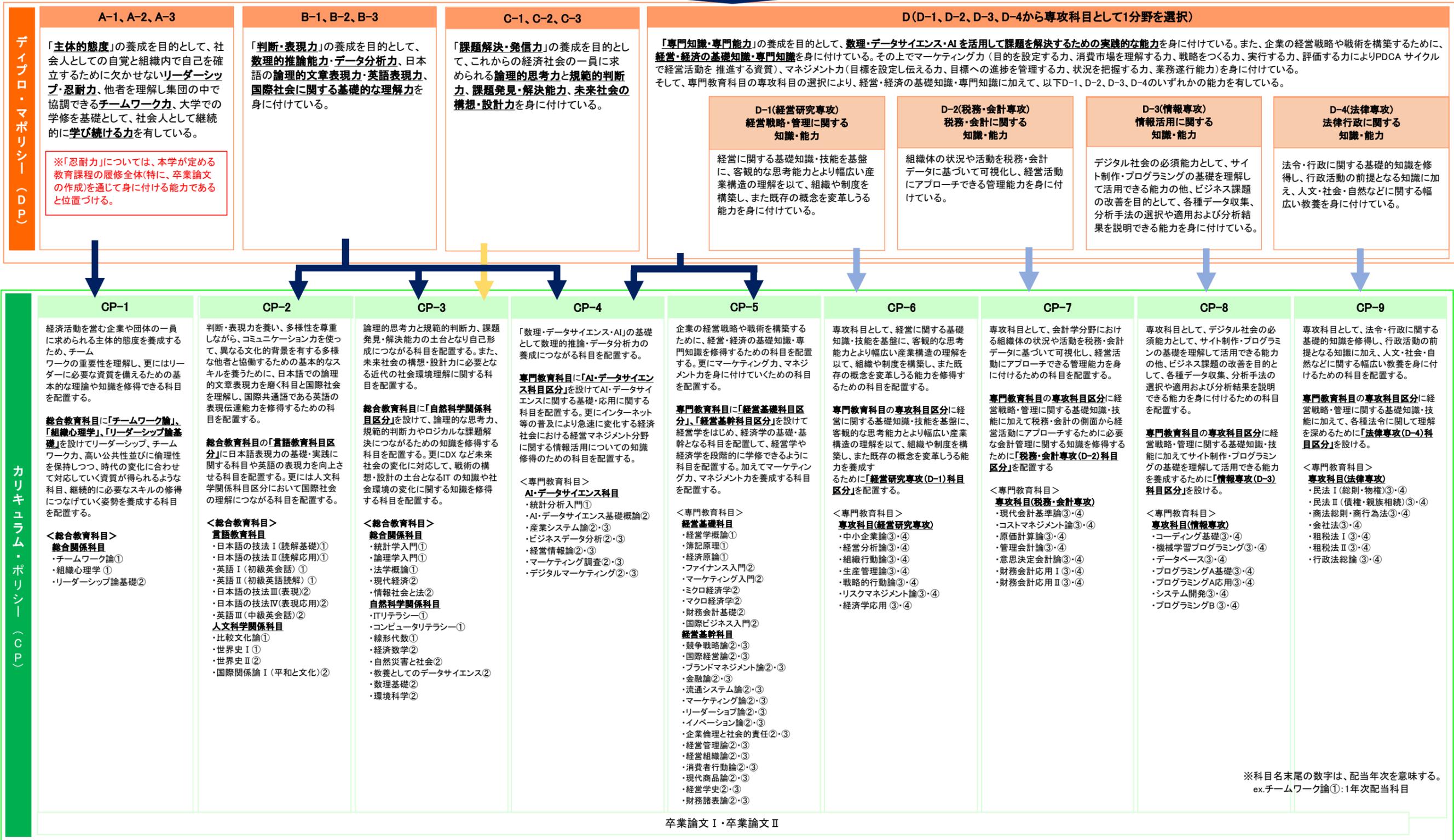


(資料24)東京経営大学_養成する人材像、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの相関図

養成する人材像

本学が養成する人材像である「有為な産業人」とは、Society5.0時代に求められる人材として、組織の中で忍耐力を持ってリーダーシップを発揮し、多くの人々と協働できるチームワーク力と常に学び続ける力を以て、組織目標に向かって動機付けや活性化することができることを基盤に＜DPのA-1、A-2、A-3に対応＞、新たに生起する経営事象や課題について、あらゆる情報・データを収集し、取捨選択・整理・吟味できる数理的推論能力・データ分析力を活かして導かれた根拠や結論を論理的な文章表現力及び英語表現力を用いて解釈し、意見を述べることができ、国際社会に対する理解力を有する人物を意味する＜DPのB-1、B-2、B-3に対応＞。さらにそれらを基盤として、幅広い知識に触れることで自ら課題を見つけ出すことができる課題発見・解決能力、さらに広い視野で物事を構造的に思考して判断できる論理的思考力・規範的判断力、社会に散在している課題の本質を捉え、望ましい未来を構想する未来社会の構想・設計力を身に付けている＜DPのC-1、C-2、C-3に対応＞人物を意味する。

そして、以上の経営学を中心とした学修を通して専門知識・専門能力を有した上で、数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的能力を併せて修得し、専攻科目として経営研究、税務・会計、情報、法律・行政分野の4分野のうちいずれか1分野を選択して専攻し、さらなる知識等を身に付けることで＜DPのD、D-1、D-2、D-3、D-4に対応＞、企業経営の中核を担うことができる能力を持つ者が本学の養成する人材像である。



※科目名末尾の数字は、配当年次を意味する。
ex. チームワーク論①: 1年次配当科目

アドミッション・ポリシー(AP)		
AP-1	経営学及び数理・データサイエンス・AI分野に対する興味や関心と主体性をもって、多様な人々と協働して学ぶ態度を有している。	AP-2
		AP-3
		高等学校の主要科目について、教科書レベルの基本的な知識を有している。